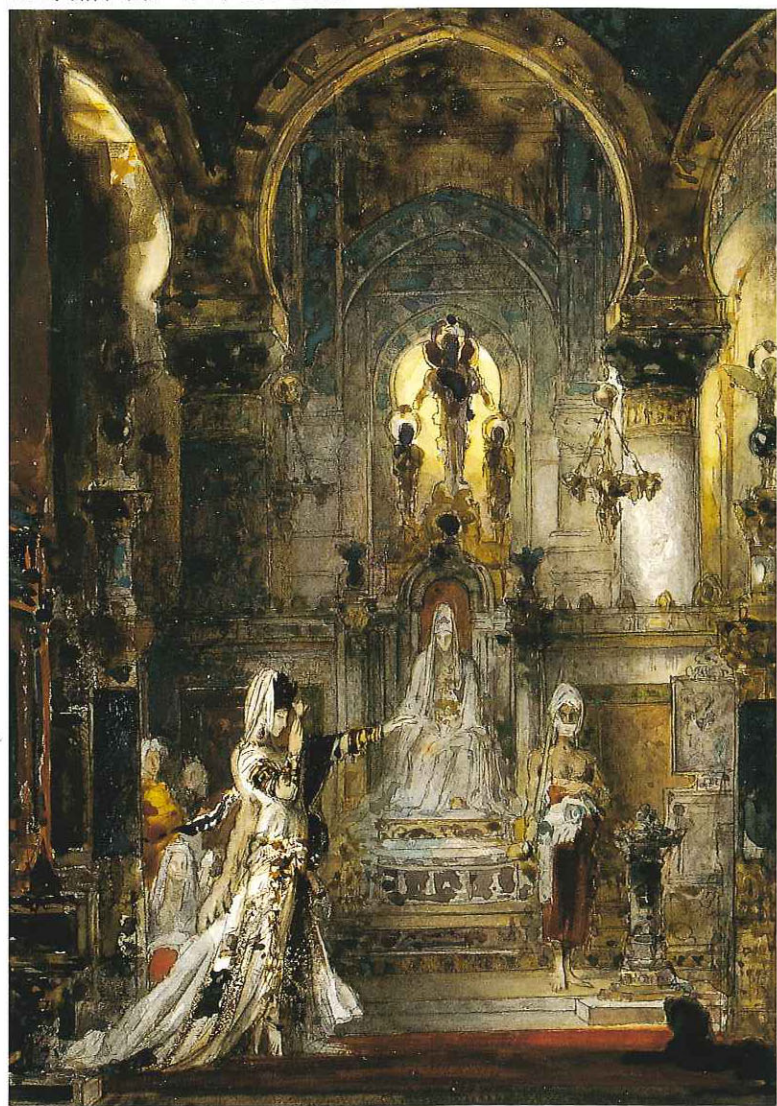
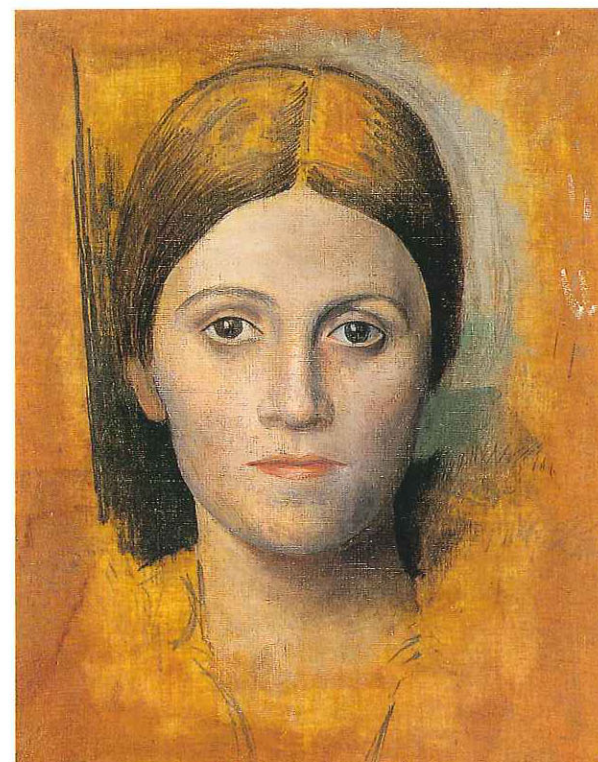


〈サロメの舞踏〉 ギュスターヴ・モロー
 神話や宗教などを題材に幻想的な世界を描き、世紀末
 象徴主義の道を拓いたモローの水彩画。明暗のトーンと
 水彩のにじみが効果的に用いられ、神秘的な空間を醸し
 出している。題材は、ユダヤ王の娘サロメが踊りの褒美に
 洗礼者ヨハネの首を所望したという、新約聖書からの話。
 1876年頃作、水彩・インク、23.0×15.7cm

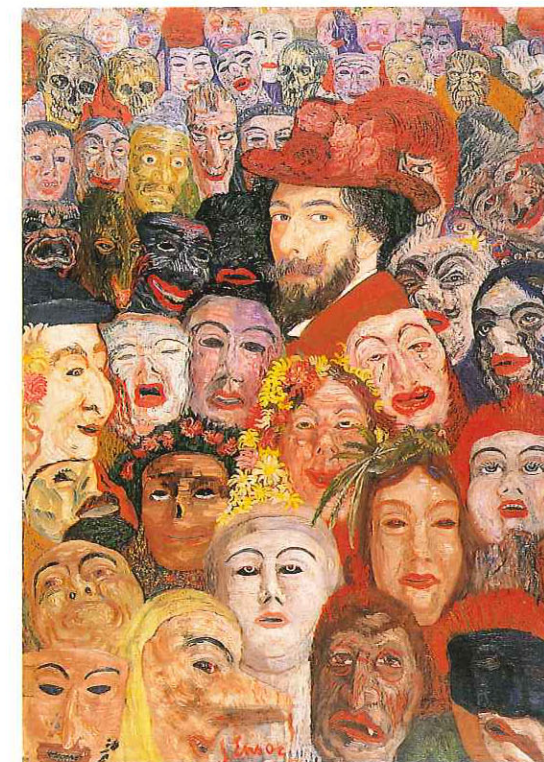


世界の名画が集まる空間、メナード美術館。
 そのぜいたくな場所と空気に触れたくて。

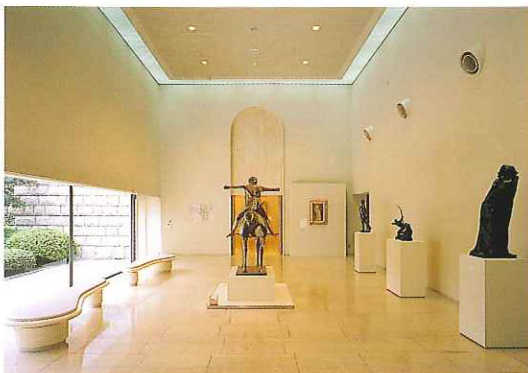
美しく装った自分を、緊張感漂う空間へといざなう。
 そんな時間を素晴らしくぜいたくに感じとれるのも、
 女性だけが味わえる喜びなのかもしれません。静かに
 心ときめく時間を与えてくれる美しい名画が集められ
 たミュゼ（美術館）は、そんな女性にとっての、とっ
 ておきの場所に違いありません。感性に響きわたる、
 名画からのメッセージを感じとってみませんか。



〈オルガ・ピカソの像〉 パブロ・ピカソ
 20世紀美術の革命者ピカソが、最初の妻
 オルガを描いた極めて写実性の強い肖像
 画。ロシア貴族の娘でバレリーナであった
 彼女の優美さに秘められた意志の強さを、
 ピカソの卓越した描写力は確実に捉えてい
 る。
 1918年作、油彩、35.2×27.3cm



〈仮面の中の自画像〉 ジェームズ・アンソール
 仮面と骸骨をモチーフとし、先駆的描法と
 特異な想像力を示したベルギーの画家ア
 ンソール。種々雑多な仮面に囲まれ赤と肌
 色を中心とした生々しい色彩のこの自画像
 は、異様な幻想を繰り広げた画家の傑作
 のひとつである。
 1899年作、油彩、117.0×82.0cm



美と文化の館 メナード美術館

愛知県・小牧市にあるこの美術館は、日本メナード化粧
 品の野々川大介会長夫妻が、20数年にわたりコレクショ
 ンした美術品を一般公開したものです。所蔵品は、近・
 現代絵画を主体に、彫刻、工芸など約1,100点。主な作
 家は、マネ、ゴッホ、マティス、ブラック、シャガール、ロ
 ダン、プーデル、岸田劉生、横山大観、東山魁夷
 など、名だたる作品が多数収蔵されています。

〒485愛知県小牧市小牧5-250 ☎0568-75-5787